

農場だより

2020

4月号

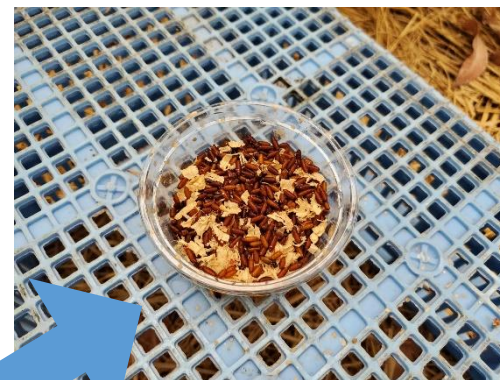
果樹

マンゴーの花と受粉



←マンゴーの花→

気づいてます？右の房の色が赤くなっていますが、これはガクの色です。花弁ではありません。



サナギの殻

ヒロズキンバエ



セイヨウミツバチ



マンゴーは、1房に約1,000個の花をつけますが実ができるのはそのうちわずか4～7個程度です。非常に受粉効率が悪いことがわかります。そこで**セイヨウミツバチ**と**ヒロズキンバエ**に手伝ってもらいました。その役割も終わり、借りたミツバチの巣箱の返却をしました。また、ハエの抜け殻を撤去しました。ご苦労様でした。なぜ、受粉効率が悪いのかは、またの機会に！

ミツバチには、**セイヨウミツバチ**と**ニホンミツバチ**があります。セイヨウミツバチは飼育しやすいので養蜂業で使用されています。ちなみに養蜂業は、畜産業に当たります。知っていました？

4月14日

果樹

反い橋園・柿坪園剪定終わりました。



←反橋園剪定後の様子

剪定した枝が散ら
かっている！
チップパーにかけてい
ません。

高島園で福富先生が剪定にチャレンジ↓



反橋園は、学校に一番近いミカン園です。隣では、野菜を栽培しています。2年3年生が剪定する樹を残し全て剪定が終わりました。ここには105本植えられています。

4月15日

カルチャー園芸 トウモロコシの定植完了。ありがとうございました。

1年生が必ず受講するカルチャー園芸。新型コロナウイルスの影響で今年度は、先生方に協力してもらいトウモロコシの定植を行いました。植物は待ってくれません。植える時期が遅れると生育に大きな影響が出てしまいます。

金剛先生、山内先生、村田先生が中心になってうね立てから区画整備してくれました。



植え方を先生方に講習中

快晴、最高の天気でした。



定植した後は、必ずかん水（水やり）を忘れずに行います。土に根付くまで1週間はかん水を欠かさず行います。

甘くて、美味しいトウモロコシが育ちますように！



4月16日

果樹

落葉果樹園の様子

暖かくなってきました。ここ落葉果樹園では、カキ（刀根早生）・ブドウ（デラウェア・巨峰・藤稔・昨年植えたシャインマスカット）そして、ウメ（南高）が植えられています。昨年ウメは、3分の2伐採しました。レモンを植える予定にしています。

実が少し膨らんでいます。→



↑カキの出葉・出蕾の様子



ブドウの発芽の様子↑

4月17日

果樹 マンゴー温室の様子



花を1房1房紐で吊り上げていきます。一体今年はいくつ実るのだろうか？昨年度よりは少ない見込みですが・・・。

ミツバチ・ハエによる
受粉後の花の様子

マンゴーは、1房に5～7個結実しますがその内1～2個に絞ります。でも、あの大きな実になるとは限りません。中に種子が形成されていないとあの大きな実にならないのです。種子がない実は、10cmくらいの実にしかありません。



黄色の実は、結実していません。受粉ができていないので自然に落下してしまいます。



4月18日

果樹 レモンを消毒しました

レモンの品種は「ユーレカ」です。どうしても「かいよう病」に弱い品種であるため消毒は不可欠です。



反橋園で消毒しているのは仲里先生です。これから、暑くなってきました。できることからカッパ着たくない。



レモンを栽培しているのは、平谷園（一番遠い園です）と反橋園（一番近い園）です。これからは、落葉果樹園で梅を伐採した後地にレモンを植樹していく予定です。

レモンの需要は年間を通してあります。しかし、ほとんどが輸入品に頼らなければなりません。そこで国産のレモン栽培に新たにチャレンジしていきます。

[ページトップへ](#)

4月22日